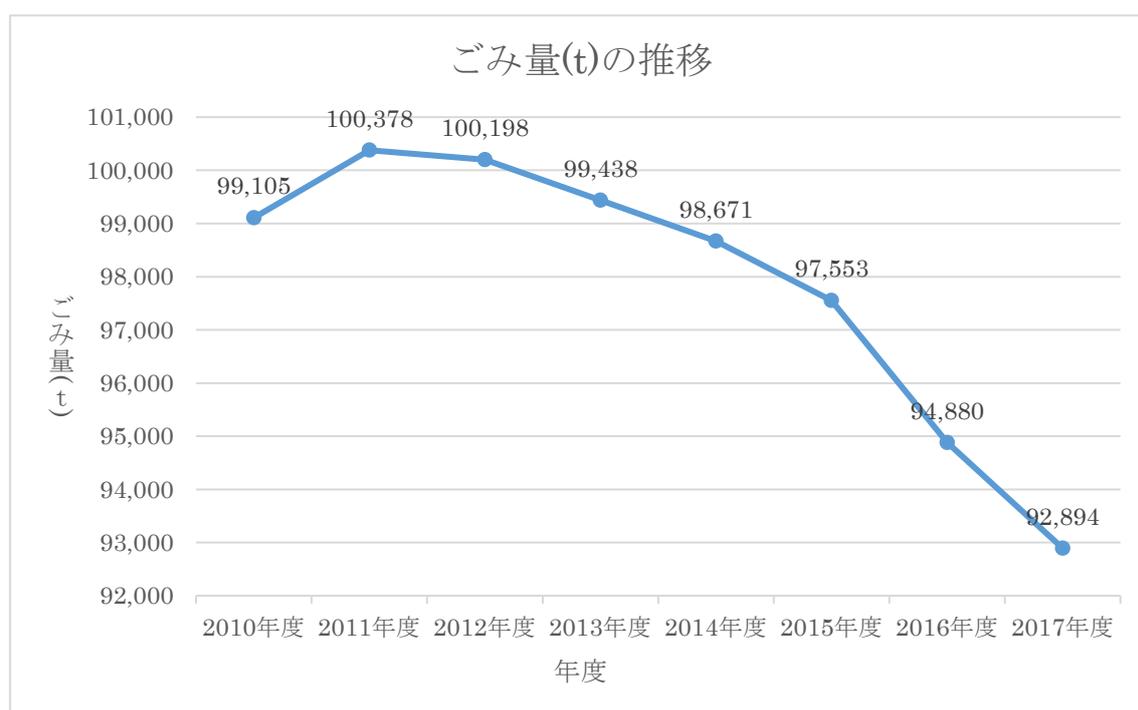


町田市のごみの現状と今後、 リサイクル広場真光寺について

○町田市のごみ処理状況

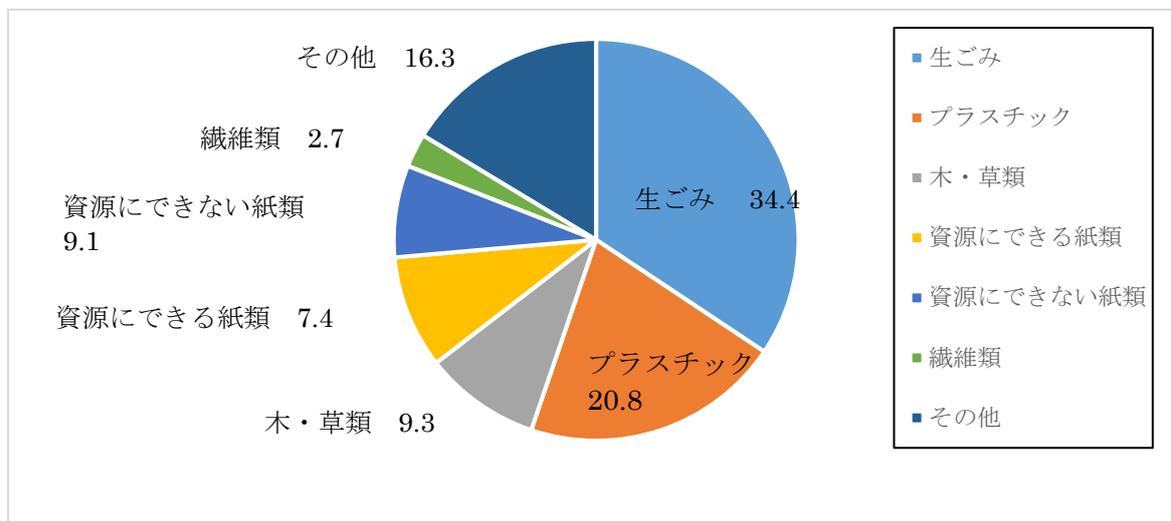
2017年度のごみ量は、9万2,894トンでした。前年度と比べると1,986トン減少しています。



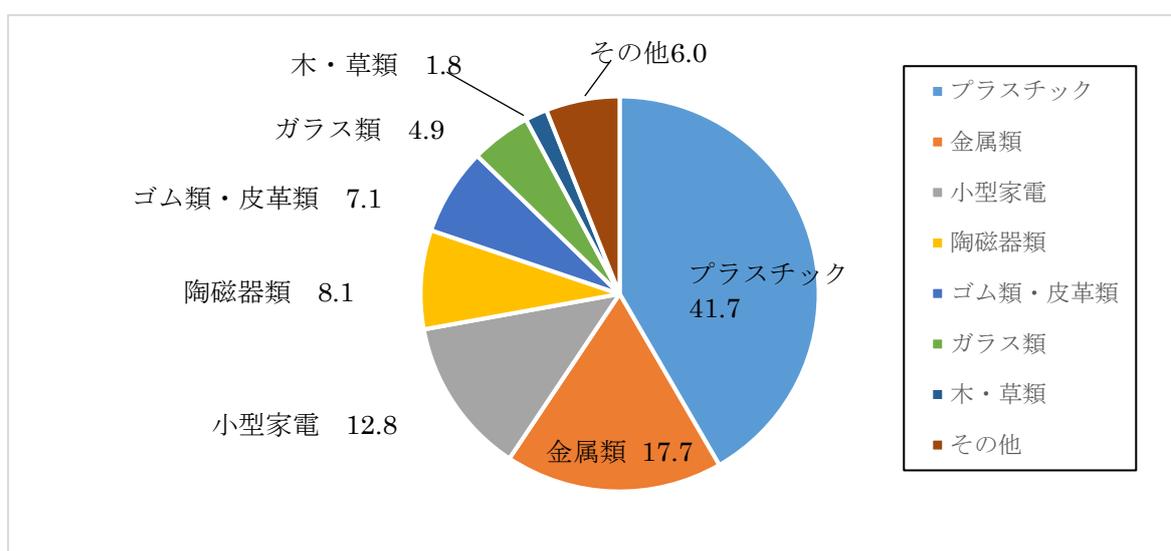
○ 2017年度実施の組成調査の結果

市では、毎年「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」の中身を調べています。

【燃やせるごみ袋の中身】



【燃やせないごみ袋の中身】



「燃やせないごみ」のうち、リサイクル広場に関連する項目をピックアップすると金属類が17.7%、小型家電が12.8%、陶磁器類が8.1%、ガラス類4.9%となっています。これらの品目が燃やせないごみの43.5%を占めていました。つまり燃やせないごみの約半分が資源化できるといえます。

○地域リサイクル広場の中におけるリサイクル広場真光寺

2018年度、地域リサイクル広場全体では11,521kgの資源物を回収しています。うち、リサイクル広場真光寺で、約7割の8,074kgを回収しました。

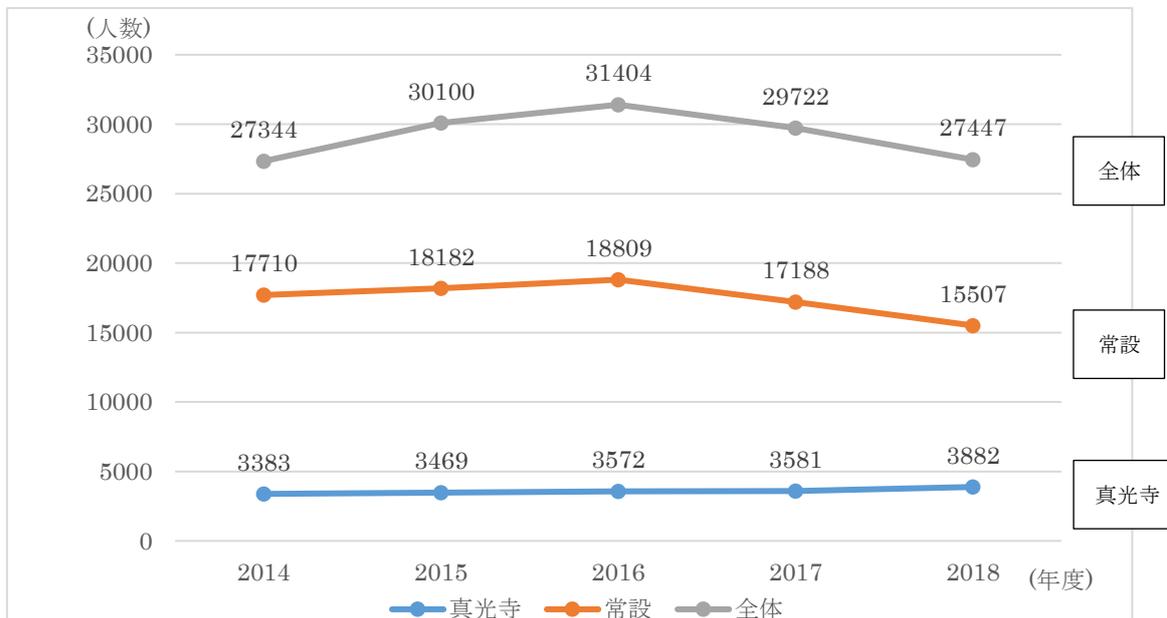
2018年度回収量比較

	リサイクル広場真光寺	地域リサイクル広場	真光寺回収量比
家庭金物	2,691 kg	3,237 kg	83%
陶磁器・ガラス製品	3,888 kg	5,632 kg	69%
紙容器	183 kg	325 kg	56%
洗剤計量スプーン	5 kg	18 kg	28%
ペットボトルの蓋	116 kg	380 kg	31%
パン袋の留め具	5 kg	26 kg	19%
廃食用油	393 kg	776 kg	51%
ビデオテープ	497 kg	630 kg	79%
小型家電・インク	296 kg	497 kg	60%
合計重量	8,074 kg	11,521 kg	70%

※リサイクル広場真光寺の独自回収品目は除いている

※地域リサイクル広場は、13団体と協定を結んでいる（真光寺3丁目を含む）

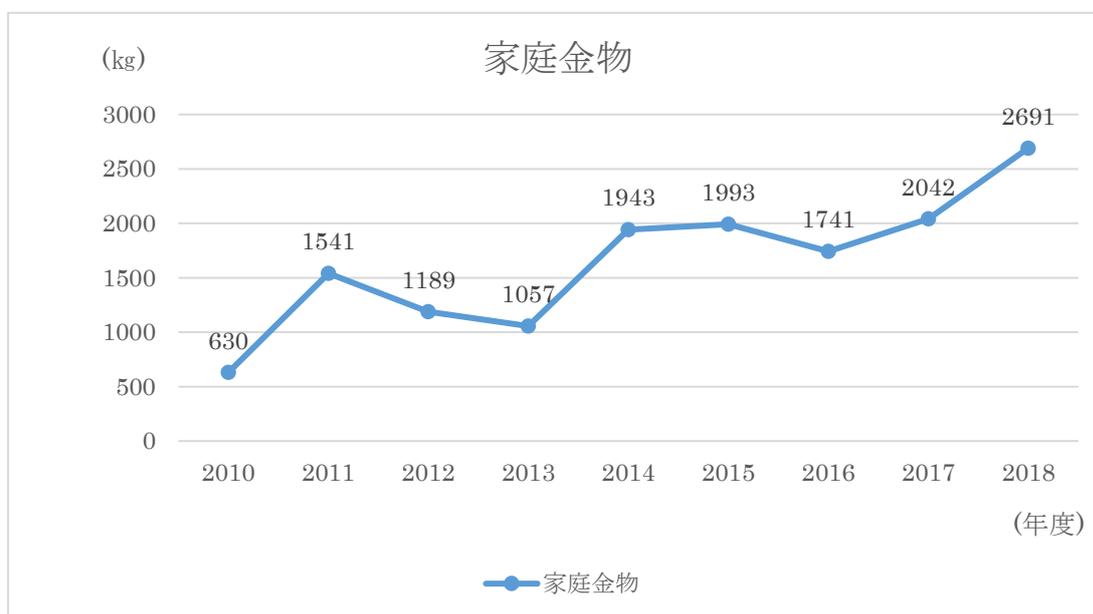
○リサイクル広場の利用者数



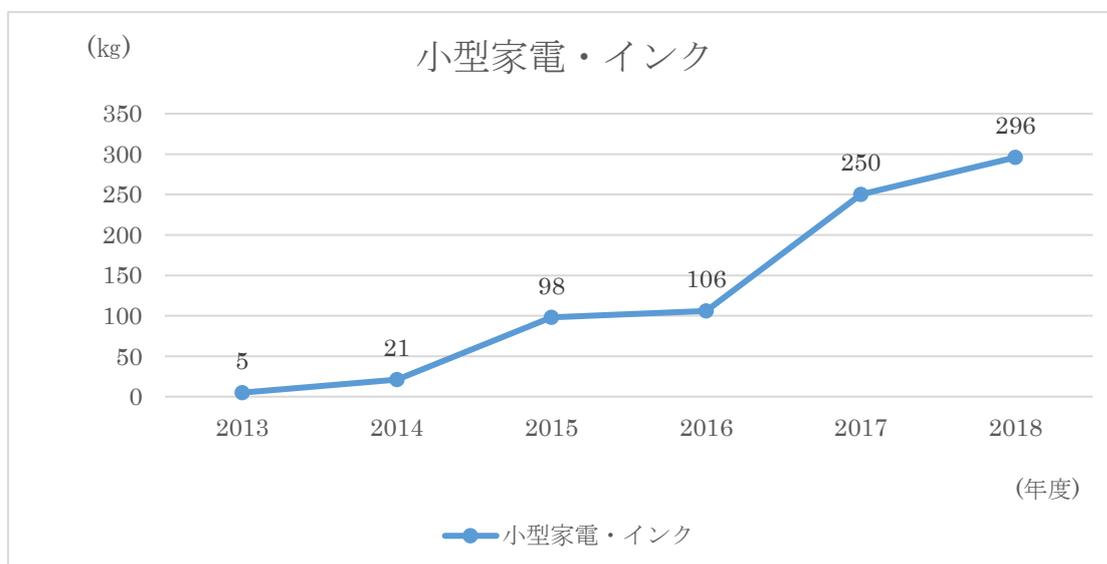
※全体数には真光寺の利用者数を含まない

広場全体と常設広場の利用者数は増えておりませんが、リサイクル広場真光寺の利用者数は少しずつ増えています。これは、真光寺3丁目のリサイクル広場が地域に定着しながら、新たな利用者も増えているためと思われます。

○リサイクル広場真光寺での家庭金物と小型家電・インクの回収量推移



家庭金物は「燃やせないごみ」の中で2番目に多い品目です。回収量は増加傾向にあります。



小型家電は「燃やせないごみ」の中身で3番目に多い品目です。2013年の回収開始から約60倍の回収量になりました。

「燃やせないごみ」の中に多く含まれるこの2品目の回収量が増加しているということは、ごみとして捨てられているものであっても、広場で回収・リサイクルできる品目として浸透してきているということが言えます。